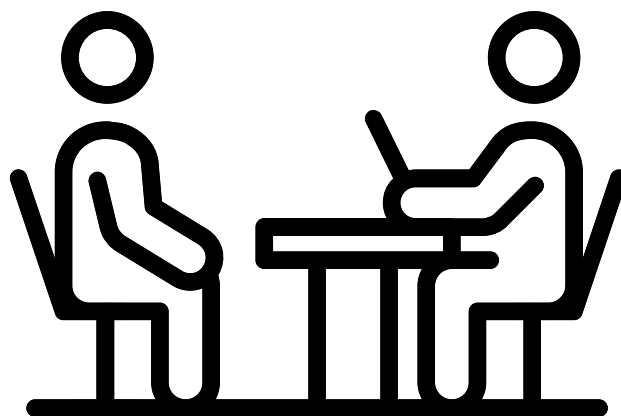


4.官庁訪問 対策編

- 4-1 官庁訪問とは
- 4-2 官庁訪問統計データ
- 4-3 官庁訪問対策



官庁訪問とは

官庁訪問...

名前は聞いたことがあるけど、
実際、どんな制度なんだろう...



国家公務員の試験は様々な制度があって難しいよね。
官庁訪問について説明するね。



「官庁訪問とは？」

官庁訪問とは、**各省庁で行われる面接試験**です。人事院の「国家公務員試験」という試験を受け、一次試験を通過すると、官庁訪問に参加できます。

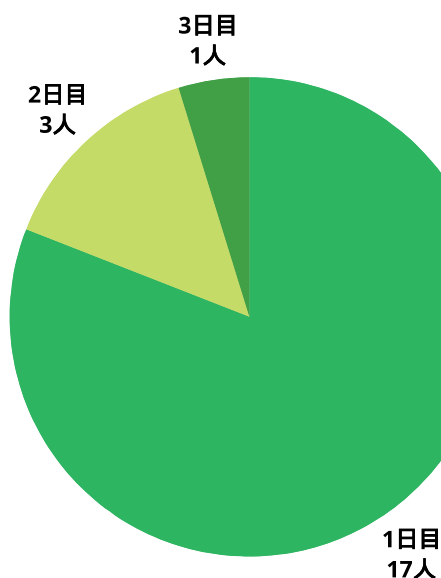
国家公務員は試験の**最終合格＝採用ではなく**、最終合格し、希望する官庁から、内々定、内定を得る必要があります。

官庁訪問は、志望する官庁に採用されるために必要なステップです。

詳しくは**国家公務員採用情報NAVI**の官庁訪問ルールや官庁訪問ガイドなどをチェック！

官庁訪問統計データ

官庁訪問の初回訪問日



初回訪問日は1日目の人が多いですね。
全体の訪問日程としては、2025年度、本局は最終日程合わせて4日間ほど、地方事務所は最終日程合わせて2日間ほどでした。
2024年度はオンラインでの参加もありましたが、2025年度は全員が対面参加でした。



一日のスケジュール

入口面接

- ・業務紹介
- ・自己PR
- ・志望動機の深掘り
- ・アイスブレイク

原課面接1

- ・業務についての逆質問
- ・関心事について
- ・志望動機の深掘り
- ・業務紹介

昼休憩 (1H)

原課面接2

- ・業務についての逆質問
- ・志望動機の深掘り
- ・業務紹介

原課面接3

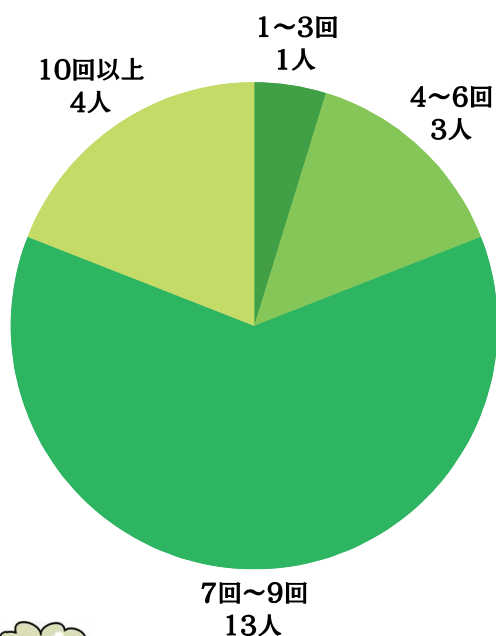
- ・業務についての逆質問
- ・業務紹介

出口面接

- ・次回の予定合わせ
- ・フィードバック

4-2

官庁訪問における総面接回数は？



公正取引委員会以外の参加官庁としては検察庁や税関が多かったね。
申し込みはしたけど未訪問の人もいたよ。

併願先

内閣府

厚生労働省

財務省

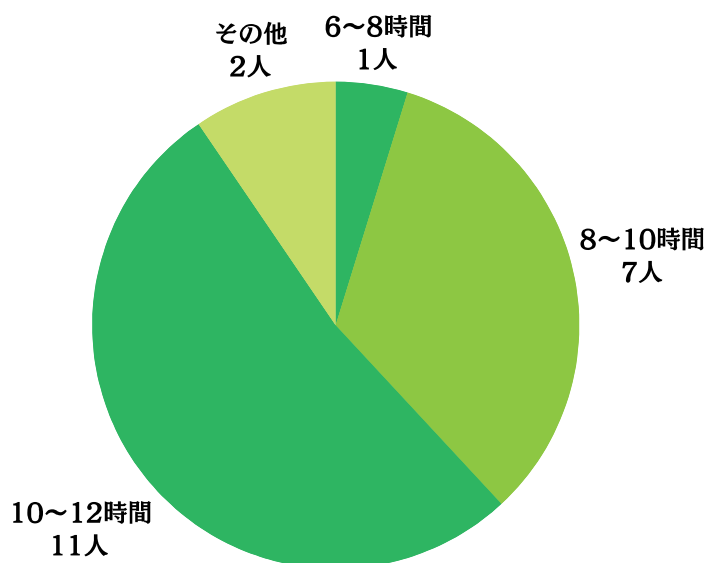
東京地方検察庁、京都地方検察庁、
大津地方検察庁

東京税関、門司税関

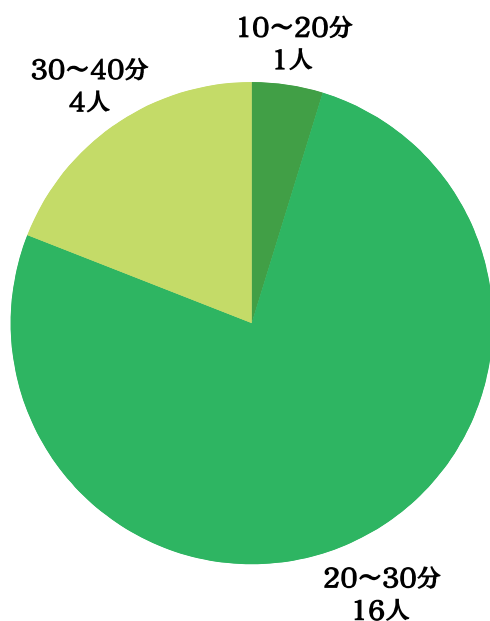
法務局

関東経済産業局

一日あたりの所要時間は？



一回当たりの面接時間は？



官庁訪問対策

印象に残っている質問

今日の官庁訪問で印象に残っていることは何ですか

昨年度の内定者ハンドブックでそのような質問があると知っていたため、面接官の方々のお名前や所属先をメモしておいたのですが、そのおかげでスムーズに答えることができました。

(めろん)

官庁訪問にて感じた公取職員の雰囲気と自分のどこが合致しているか

業務内容への関心だけでなく、自分のこういったところが公取の雰囲気と共通しているのかも大切だと実感しました。

(ゆず)

親友とはどのような存在ですか

質問された瞬間は「改めて考えると親友って何！？どこからが親友！？」と混乱しましたが、瞬時に判断し70点くらいの回答ができたと自負してます。

(シマエナガ)

独禁法の面白いと思う部分はどこですか

官庁訪問対策としてそれまで考えたことのない質問で対応に苦労しました。

(わたあめ)

官庁訪問対策

印象に残っている質問

ハードな仕事をする体力はあるか

時代に合わせて変化する業務に対応できるか、また審査業務など体力が必要な業務にも積極的に取り組めるかを確認されたのだと思います。

(やすし)

公取が競争理念を発展途上の国に教える理由は何だと思えますか

この質問が来るまではそういった政策を行っていたことも知らず、ただ面接官の興味から急に質問をされたことで、逆に忌憚なく発言でき、面接官からも興味深いお話を伺えました。

(アヒージョ)

なぜ公取が第一志望なのか

私は捜査や公正という面で公取と似ている役所(国税など)を併願していたので、公取と併願先の違いや公取が第一志望の理由をしっかりと言語化することが良い評価につながったと思います。

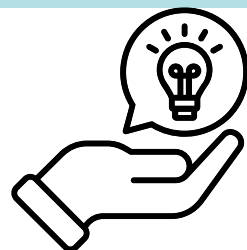
(カメラマン)

公取が関連するもの以外で関心のあるニュースや出来事を教えて下さい

準備では、公取についての知識ばかりを詰めていたので、あまりうまく対応できませんでした…。様々な物事に興味を持てる人間かを見られているように感じました。

(ごん)

内定に繋がった要因



面接中は適度に笑顔でいることを心がけてました。(笑顔と言っても口角を上げる程度で歯は見せません。) 官庁訪問は「私自身」を評価される場なので、普段の自分を少しでも出せるように、職員の方にできる限りいい印象を持っていただけるようまずは笑顔を心がけていました。

(シマエナガ)

自分の考えを素直に話したことです。面接であることは意識しつつも、堅くなりすぎずに自分らしく話すよう心がけた結果、本来の自分を出すことができ、良い結果に繋がったのではないかと思います。

(めろん)

公取の理念と志望動機が合っていたからかなと考えています。市場の適正化が日々の生活の暮らしやすさにつながることに納得していて、業務に関わることで市場の適正化に貢献したいという気持ちを、どの面接でも意識しながら受け答えしました。

(やすし)

筆記試験が終わってから毎日、新聞やネットニュースに目を通して、公取に関するニュースや出来事をまとめたことです。

(カメラマン)

説明会に参加できる日はすべて参加したことと、職員訪問を行ったことが内定に繋がった要因だと考えています。積極的に説明会や職員訪問に参加することで、公取について詳しい情報を得ることができ、官庁訪問の時の話のネタや、志望動機を深める際に役立ちました。また、自分の熱意も伝えることもできました。

(ごん)

逆質問を何となく考えるのではなく、本当に自分が気になることを、公取という職場が自分にマッチしているかを見極めるつもりで考えたことです。そうすることで面接での会話も弾みますし、自分をどのようにアピールするかも明確になるとと思います。

(カメラマン)

やっておいてよかったこと



時事に触れておく

・官庁訪問前日に公取の最近の報道発表資料に目を通したことです。逆質問を考える際のネタにもなりますし、事件や事例の名前を面接で出すことで、面接官にちゃんと公取について調べていることをアピールできました。

(カメラマン)

疑問点をまとめておく

・大学では刑事訴訟法のゼミに所属し、併願先に地方検察庁を受けていたのですが、公取と併願先は何が違うのかを整理したこと。実際に地方検察庁の方が志望度が高いのではないかという質問をされましたが、準備していたので、公取が第一志望であることを理解してもらえました。

(りんご)

公取への理解を深める

・公取の業務内容や関連のニュースについて100%でなくとも70%くらいの知識を頭に入れておくことです。面接の中で数回質問されることがあったのですが、特にニュースに関しては複数社の新聞記事を大学図書館で読み、テレビでは報道されてない詳しいところまで見ていたことが理解に繋がり、少し深掘りされても難なく答えることができました。

(シマエナガ)

面接の場数を踏む

・面接シートに記載したものはほとんどすべて面接で触れられたので、ゼミやサークル、アルバイト、資格など、どの項目もエピソードを話せるように事前に整理しておいたのはよかったなと思います。

(あずき)

やっておけばよかったこと



逆質問の用意

・それぞれの業務についての質問を事前にもっと多く用意しておけば、逆質問の際に慌てることなく、有意義な質問をすることができたと思います。

(めろん)

自分の軸を持つ

・官庁訪問は必ずしも面接チックなものではなく、対話風な面接官もいて、自分の考えや相手の発言に対する応答に一貫性を持つためにも、自分の軸はきちんと持っていた方がいいと思います。

(アヒージョ)

優先順位を決めておく

・官庁訪問と他の試験の面接日程が被った際に、無理をしてでも他の試験にも行くのか、他の試験を捨てて官庁訪問に集中するのかあらかじめ志望順位と覚悟を決めておけばよかったと思いました。

(カメラマン)

理解の穴を埋めておく

・公取の業務内容で自分が理解できていないことを把握することです。面接の中で逆質問の時間が多くあるのですが、業務内容の理解が中途半端ゆえに逆質問の機会を最大限活かすことができなかった場面がありました。

(りんご)

官庁訪問後すぐ人事院面接があったので、先を見据えて準備しておくべきだったなあ。(´ 〰 ｀)。



4-3

真夏なので屋外は暑く、室内は冷房でかなり寒いこともあるので、服装には注意が必要でした。

地方事務所では待ち時間はそれほどありませんよ。

あまりに緊張しすぎて頭が真っ白になり練習では答えることができていた質問に対して誤った回答（AとBを比べる質問をいただいた際、回答を逆に話してしまっただけ）をしてしまい確実に落ちたと感じました。

当日の夜遅めの時間にアルバイトを入れたのですが間に合わず休むことになったので、官庁訪問日は1日予定を空けといた方がいいと思います…

待ち時間が非常に長いです。そのため、パンフレットといった待ち時間に読む資料や、お菓子などお腹がすいたときに食べられる軽食があると良いと思います！（待ち時間に買いに行くこともできます！）

とても緊張する

スケジュール管理

持ち物

！ 官庁訪問の注意点 ！

待ち時間が長いですし、帰る時間も遅くなるので、郊外の自宅から時間をかけてくる人は体調管理が重要だと思います。

最終日は特に待ち時間が長いので、本などを持っていくといいと思います。

具体的な時間は言えませんが、腹を括った方がいいと思います。

家が遠いと特に朝が早い

待ち時間が長い

面接官の方が優しく「実際は〇〇ですよ」と訂正してくださいましたが、あまりに焦りすぎて「あっ…」みたいな反応しかできなかったのも反省です。ただ、その後の質問では失敗を引きずらず切り替えて答えることができた点は良かったです。

大体半日程度拘束される点です。実際に1日目に予約をしたのは公取のみでしたが、官庁訪問の予約をする際に同日の遅い時間帯に別の省庁に訪問するか悩んだので危うくダブルブッキングするところでした。

失敗しても気にしない

他省庁とのブッキング

知っておくと便利な情報



面接中にもメモを取れる
みたいだよ(,,>.<,,,)

待機時間中は、他の志願者と会話をしたり、軽食をいつでも食べれるので、時間を潰す本や軽食があると、いざとなった時に助かると思います。下の売店で雑誌やお菓子を買っている人もいたので、散歩がてら売店に赴くのもありだと思います。
(アヒージョ)

日経新聞を初回無料購読していましたが、バックナンバーも読むことができたのですごく便利でした。
(りんご)

公取のSNS（主にX）をフォローしていると、知らず知らずのうちに最新情報が目に入るなので、そこから内容を深く調べるなどとても便利でした。
(こいし)

面接で分からないことを聞かれた際に、振り返りとして調べ物をする際にスマホをよく使ったので、通信制限や充電不足に気をつけた方がいいと思います。
(やすし)
お昼休憩は時間があるので、コンビニで買ったり、食堂に食べに行ったり（新庁舎にあるかは不明）もできました。
(くらげ)

面接が終わるたびに面接内容をメモしていました。毎回面接を振り返ったことで、印象に残っている質問について答えることができました。
(ゆず)
毎日訪問が終わると、振り返りでまとめノートを更新し、朝の電車で見っていました。
(こう)

面接は一対一で、和やかな雰囲気ですぐに進めてくださるのであまり怯える必要はないと思います。
(あずき)
何回も面接があるので、いわゆる面接のような面接もあれば、職員さんの業務についてのお話を聞き、それに対する逆質問を行う形の面接もありました。
(ごん)

待ち時間は、面接対策のメモを見返すのはもちろん、多くの人が周りの方と談笑していました。私は、面接の内容についてはもちろん、それぞれの出身地や趣味の話などをしていたので、リラックスして官庁訪問に臨めました！
(ごん)

官庁訪問を受ける皆さんへ

将来を決める公務員試験自体にただでさえ肩の力が入る中で、不透明性の高い官庁訪問という試験に一際不安を抱く方もいると思います。ですが、私は結果は全て自分にとって最終的に都合の良いものだと思っていて、内定をもらえなかったときも、それは理念や思考プロセスなど何かしら合わないんだと割り切っていました。一期一会とも言える就職のご縁として、皆さんが公取を選ぶことを願っています。(アヒージョ)



官庁訪問中は何回も面接をするので、その都度質問にうまく答えることができたか、志望度は伝わっているのかと不安になることがあるかと思います。最後まで自分の言葉で一生懸命話し続ければ必ず思いは伝わります! 自信をもって官庁訪問に挑むためには急入りの準備が効果的でした。大変だと思いますが、頑張ってください。応援しています!(りんご)

本当に長くて疲れて大変だと思いますが、面接官の方々は最後まで丁寧に話を聞いてくださるので、しっかり準備したことが発揮できることを祈っています。体調崩さないで元気に就活が終わるよう応援しています...!(やすし)

